

令和3年度の重点課題

【新体力テスト全般】

○DE判定の児童の割合が、約24%と昨年度よりも増加している。
 ○2年生以上の児童の昨年度の判定と比較すると、低下した児童が16名おり、全児童の約36%にあたる。
 ○AB判定の児童の割合は、約47%であり、本校児童間に体力の二極化傾向がある。

【上体起こし】

○県平均値・全国平均値と比べて、学校平均値で男女ともに低く、男子が1回強、女子が約2回少ない。特に、高学年が男女とも県平均値・全国平均値との数値の差が大きい。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

◇毎時間の体育授業、毎日の業間運動においてサーキットトレーニングとして、「上体起こし」「20mシャトルラン」の強化に関する運動を入れる。
 ・「上体起こし」・・・「かかとタッチ」「クランチ」等を学年の発達段階に応じて回数やセット数を設定
 ・「20mシャトルラン」・・・「10mダッシュ・ターン」「パービージャンプ」を学年に応じて回数を設定
 ◇3学期の体育授業の中で、「上体起こし」「20mシャトルラン」の再測定を行う。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.67	18.00	35.00	46.00	49.83	9.22	163.17	25.50	56.33	第5学年	19.20	16.20	39.40	42.60	42.40	9.66	155.20	15.40	58.20

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.67	18.00	35.00	46.00	49.83	9.22	163.17	25.50	56.33	第5学年	19.20	16.20	39.40	42.60	42.40	9.66	155.20	15.40	58.20

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	20.00	80.00	0.00	0.00	第5学年	40.00	40.00	20.00	0.00

学校独自の意識調査

学校アンケート
 質問 体育の授業の内容はよくわかりますか。
 ・よくわかる 76.2% ・すこしわかる 21.4%
 ・あまりよくわからない 0% ・まったくよくわからない 2.4%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

年間を通して授業の冒頭(5分～10分)に「サーキットトレーニング」の実施。
 ・ランニング
 ・上り棒
 ・逆上がり
 ・飛行機 など

体幹を主に鍛える学年に応じたサーキットトレーニングの実施。

体育の授業以外で行う取組内容

・年間を通しての5分ほどの業間運動
 1学期・・・ダンス
 2学期・・・ダンス、持久走
 3学期・・・縄跳び
 ・体育的行事の実施に伴って、個人目標を設定させ、事後の振り返りを行う。
 ・地元の高校球児による、「Tボール教室」の実施。

重点課題

体力面の課題

○男子
 ・「20mシャトルラン」において県平均値より低い。
 ・「上体起こし」において、県平均かつ全国平均値より低い。
 ○女子
 ・「上体起こし」「50m走」において、県平均かつ全国平均値より低い。

令和5年度の重点目標値

○運動や、スポーツが「ややきらい」「きらい」の割合を男女共に0%にする。
 ○「上体起こし」の項目を男女共に県平均値かつ全国平均値を上回るようにする。
 ○「20mシャトルラン」の県平均値を上回るようにする。(校内マラソン大会実施後、再度記録を測定)